

D—7 地方新聞家庭欄を通して見た主婦の家務に対する関心の変遷

熊本女短大 奥村美代子

1. 戦後における熊本地方の主婦の家務に対する関心の変遷を研究する一手段として、地方紙の家庭欄記事取扱量の変動について調査した。①家務のどの部門により多く興味が示されてきたか、また②各部門においてどのような種類の家務項目がとりあげられてきたかの内容的検討を行なう。

2. 昭和42年1月31日から8月4日にわたり、熊本市熊本日々新聞社調査室において、総合版家庭欄記事について調査を行なった。戦後同時に初めて家庭欄記事が記載された昭和21年7月から、41年12月に至る21年間の全紙面について行なった。各家庭小項目別に記事の行数を数え、年間総紙面行数との比を求めた。

3. ①21年間を通じ、変動の比較的少ないのは、食物関係・保健衛生関係・家族関係・児童関係。漸増してきているのは、住居関係・家庭経済関係・家庭管理関係。

激減してきているのは、被服関係記事である。②総じて
関心度は、被服・食物・住居・保健・児童・経済・家族
・管理の順に高かった。②眺める記事—流行等から、自
分でする記事—工作等に興味が移ってきた。